

奥村記念館

Okumura Commemorative Museum

No. 04-001-2010更新

新築
事務所

発注者	株式会社奥村組	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO ₂ 技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB			
設計・監理	株式会社奥村組西日本支社一級建築士事務所 OKUMURA CORPORATION	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社奥村組	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

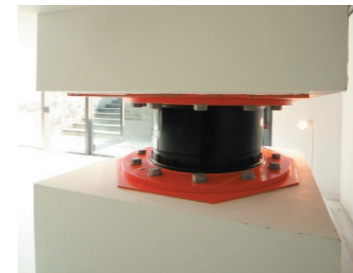
古都奈良の景観と省エネに配慮したデザイン

環境との調和

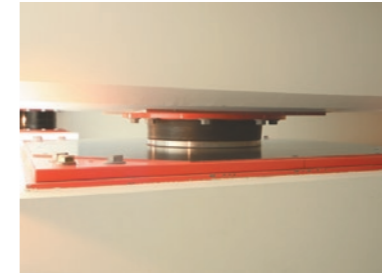
奈良公園に位置する立地環境に対し、軒の深い勾配屋根や焼杉・瓦・漆喰という日本古来の素材による外装、障子をモチーフにしたドットプリントフィルムを貼ったガラス面により古都の景観に溶け込むよう配慮するとともに熱負荷の軽減を図っている。また緑地率40%を確保し、地球環境にも配慮している。前面道路は国内外問わず観光客の往来が多いため、観光案内所や無料休憩所を併設し、一般開放することで地域のアメニティーの向上に貢献している。

安全性と耐用性を保障する免震構法

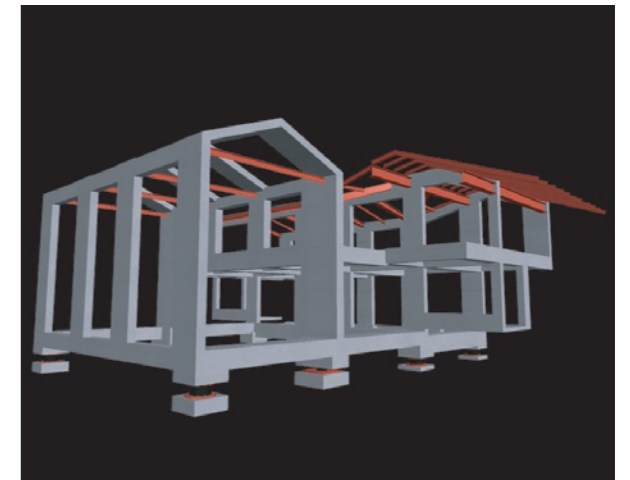
公共性の高い利用形態をとるため、安全性・耐用性の確保を考慮し、免震構造を採用している。比較的軽量な建物であるが積層ゴム支承と弾性すべり支承を組み合わせて長周期免震を実現している。



高減衰積層ゴム支承



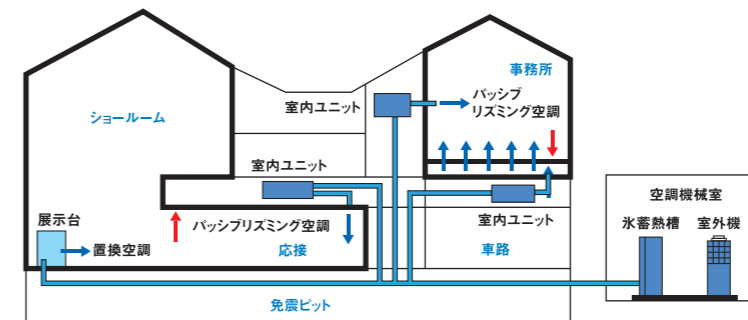
弾性すべり支承



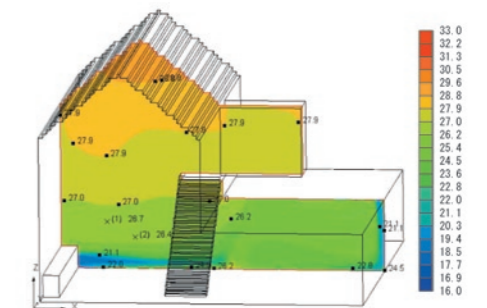
全体モデル図

設備システムの高効率化

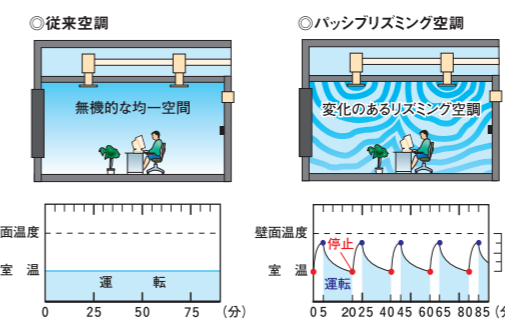
1階は、置換空調とパッシブリスティング空調方式を採用し、省エネルギーと快適性に配慮している。特に吹抜部分は冷房時、暖房時の気流方向を切り替える置換空調によって、静かで人に優しい室内環境を実現している。2階事務室の空調方式は、天井吹出と床吹出を併用することで快適性を高めている。熱源は、深夜電力利用の氷蓄熱ビルマルチ方式を採用することでキュービクル設置が不要な低電圧方式を可能にしている。設計段階では気流解析技術を活用し、年間を通じて適切な温度分布を得られるように計画している。



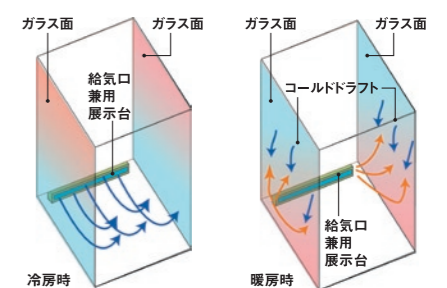
空調システムの概要



冷房時の温度分布



パッシブリスティング空調の概要



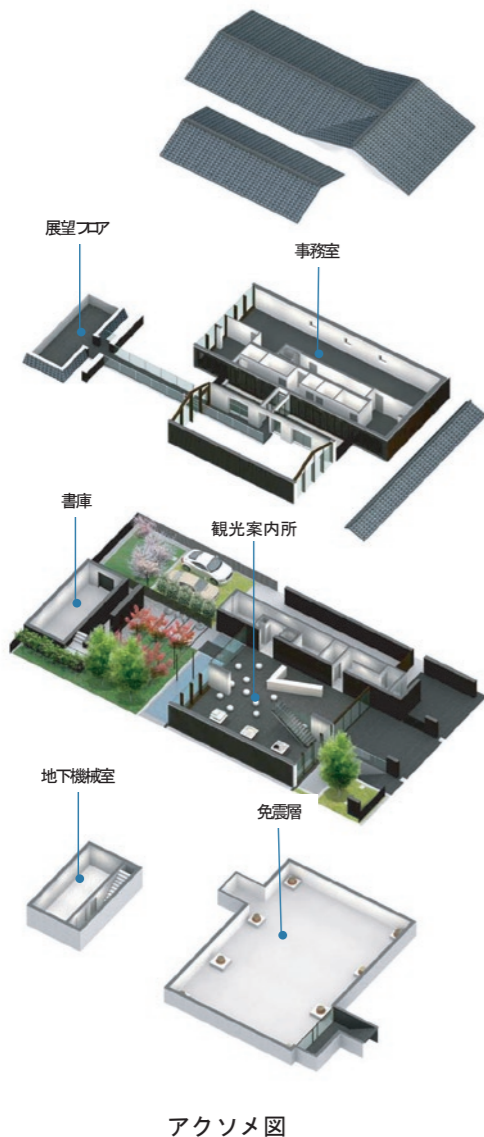
ショールームの気流方向の切り替え

設計担当者

統括・建築：篠原努／構造：服部晃三／設備：岩浅宗久、得田健一

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性 (免震構造、膨張材混入コンクリートによるひび割れ防止)
- Q2. 3. 対応性・更新性 (メンテナンスピット)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (瓦・焼杉・漆喰の外装材、第13回奈良県景観調和デザイン賞「知事賞」受賞)
- Q3. 3. 地域性・アメニティーへの配慮 (観光案内所および休憩所を併設し一般開放)
- LR1. 1. 建物の熱負荷抑制 (庇の深い外装、プリントフィルムによるガラス面の熱負荷低減、木製ルーバー)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (置換空調、パッシブリスティング空調、氷蓄熱)



アクソメ図



外観写真



外観写真



中庭写真



内観写真

建物データ

所在地	奈良県奈良市
竣工年	2007年
敷地面積	778m ²
延床面積	549m ²
構造	RC造
階数	地下1階、地上2階